



クラブ奉仕・拡大増強委員会
委員長

松川 雅典

(新大阪RC)

RIのジョン・ケニー会長は、今年度は極めて現実的な増強の目標を発表されました。すなわち年度末において年度初めよりも会員数が下回らないこと、1人でも上回っていることを目標とされました。第2660地区の大谷透Gもこれを受けて地区の会員が減少しないことを最大の目標に掲げられました。

第2660地区の原状は2000年6月30日現在で84クラブ5,010名の会員数が2009年2月末現在で4,064名と946名の減少となっています。すなわち毎年100名弱の会員数が減少していることとなっています。しかしその中であっても女性会員は1997年の132名から2008年の197名と65名も増えております。この2年間をとれば2007年7月1日現在で4,029名が2008年6月末において4,024名と1年間で5名減ですので何とか底を打ったとの感がないでもありません。その後2009年4月末現在では4,075名となっておりますので51名の増加が見られますが毎年年度末で多くの方が退会されますし、昨年秋のリーマンショック以来の経済的不況を考慮すればあるいは4,000名を下回ることにならないかとの強い危惧を抱いています。

第2660地区クラブ奉仕・拡大増強委

員会では、昨年来「行動に移ろう」との掛け声のもとに従来の減少の原因分析とか抽象的な増員論をやめて、とにかく行動をしようと、地区の各クラブに新会員候補者の情報集めのバズセッションをやってほしい旨の呼びかけを行ってまいりました。その結果多くのクラブにおいて新会員候補者の情報集めの努力をしていただきました。

今年度も2009年5月30日(土)に各クラブの会長、増強委員長のご出席を得て「会長の熱意で会員は増える。」とのテーマのもとに第2760地区の会員増強委員長の伊藤秀雄氏をお迎えして実践的な会員の増強方策を勉強しました。そしてそれに引き続く事例研究のバズセッションをもとに具体的な増強方策を皆で討論しました。その中で①3年間の増強目標を立てる。②クラブに増強チームを立ち上げる。③新会員候補者の情報を集める。④新会員候補者を例会に招待し、もしくは懇親会を開いてロータリークラブのPRを行う。⑤その後熱心に入会のフォローをする。これらが有効な増強方法であるということでした。どうぞ各クラブの会長、増強委員長様におかれましては、早期に増強の目標を立てられ、チームを立ち上げ具体的な増強活動に取り組んでください。

会長の熱意で必ず会員は増えます。